

37 大人が真剣に

本校の施設被害もまだ一部復旧がされないままではありますが、台風 15 号、台風 17 号で被害にあわれた皆様には心からお見舞い申し上げます。

毎回のようにお見舞いの言葉を冒頭に述べさせていただいていますが、先日の 15 号の際に停電生活を経験した者としては決して他人ごとではなく、本当に不安で不便な日々を過ごされているのだと感じています。

近年、自然災害に見舞われることが多く、地球規模での環境問題への取り組みは、必須だと感じています。学校でもリサイクル活動やごみの分別、また、学年に応じた環境教育を進めているところではありますが、子どもたちやその次の世代のためにも大人が真剣に取り組んでいく必要を強く感じています。

さいたま市での小学 4 年生児童の事件、非常にショッキングでした。この事件以外にも児童を狙った事件は後を絶ちません。子どもたちは、私たちの社会の大切な「宝」と私は考えます。未成熟な部分もあり、失敗や間違いを起こすこともあります。しかしその失敗や間違いこそが「学び」のチャンスであり、「成長」につながるのだと考えています。環境問題もそうですが、子どもたちの安全や安心についても、学校や家庭、地域の大人が真剣に取り組まなければならないと考えます。

2 週続けての 3 連休を終えて、今朝、まだ少し眠そうな顔をしながら子どもたちが登校してきました。私の「おはようございます」に「おはようございます」と応えてくれる声に、今日からまた一步一步進めていこうという気持ちをあらたにしました。